

第4回定例会の主な日程

令和2年第4回定例会は、次の会期日程で開催されました。

- 11月25日(水) 本会 議
(開会、知事提出議案説明)
11月30日(月) 本会 議
12月1日(火) 本会 議
(一般質問・質疑)
2日(水)
12月4日(金) 常任委員会
7日(月)
12月8日(火) 本会 議
(予算関係議案常任委員長報告等)
12月9日(水) 魅力向上に関する調査特別委員会
12月10日(木) 予算特別委員会
12月11日(金) 決算特別委員会
12月15日(火) 本会 議
(委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)

質問者

- 11月30日(月)
長谷川 重幸
(いばらき自民党)
川口 政弥
(いばらき自民党)
二川 英俊
(県民フォーラム)
12月1日(火)
本澤 徹
(無所属)
金子 晃久
(いばらき自民党)
島田 幸三
(いばらき自民党)
12月2日(水)
山野井 浩
(いばらき自民党)
塚本 一也
(いばらき自民党)
戸井田 和之
(いばらき自民党)

議場での質問の様子は、こちらから録画映像でご覧になれます。



川口 政弥 議員
いばらき自民党
取手市選出
一括方式

行政のデジタル化推進

議員 「新しい生活様式」に適切に対応するためにも、県庁業務のデジタル化は欠かせないものと考えられる。コロナ禍の状況を踏まえ、県としてどのように行政のデジタル化の進展を図っていくのか。
総務部長 県で対応可能な行政手続きは、年内を目標に電子申請化と押印廃止を進め、十月末までに内部事務の押印をすべて廃止した。国の法令などが障壁となっており、ものについては、関係法令の改正や解釈の明確化を国に要望した。

地域を牽引できる中小企業の育成

議員 県内中小企業が、業務の拡大や新分野への進出などにより、企業規模を拡大し、稼げる企業に成長することが重要である。地域を牽引していきけるような中小企業をどのように育成していくのか。
産業戦略部長 事業者によるM&Aや事業再生支援を強化するとともに、国や商工団体などの連携も強化し、生産性の向上や中小企業の中堅化を促進していく。
(ほかに、経済再生と脱炭素社会の推進、ICTを活用した教育の可能性なども質問)



産業技術イノベーションセンターにおける中小企業支援



本澤 徹 議員
無所属
銚田市・茨城町・大洗町選出
一括方式

本県のPR戦略の評価及び今後の展開

議員 知事が営業戦略部を設置して三年近くが経過したが、これまでの本県のPR戦略をどう評価し、また今後の展開についてどう取り組むのか。
知事 梨の恵水などの高級店での取り扱い実現や、常陸牛などの輸出拡大で農産物輸出額が三年間で五倍となるなどの実績を上げた。今後は成果を継承しつつ時代の要請に合わせた訴求テーマなどに取り組み、実際の誘客や県産品購入などに結びつくPRを行っていく。

新たな養殖産業の創出による本県水産業の振興

議員 環境の影響を受けにくいとされる陸上養殖へのチャレンジが重要だ。本県の陸上養殖水産業を創出するため、どう取り組むのか。
農林水産部長 養殖技術、流通、金融、経営などの専門家による検討会を立ち上げ、魚種の選定を始めた。今後、採算性を検討してビジネスとしての実現可能性を見極めるなど、新たな水産業を県内に確立するため議論を重ねていく。
(ほかに、銚田海岸の侵食対策、小中学校における不登校児童生徒への支援なども質問)



本県のPR拠点として期待される「イバラキセス」



長谷川 重幸 議員
いばらき自民党
銚田市・茨城町・大洗町選出
一括方式

いばらきサイクルツーリズム構想における大洗・ひたち海浜サイドルートの活用推進

議員 アフターコロナの観光誘客を見据え、地域活性化につながる魅力あるサイクリングコースとしていくために、どう取り組むのか。
県民生活環境部長 茨城空港から日立駅に至る本コースは、涸沼自然公園やアクアワールド大洗水族館など観光施設が多数ある。モデルコースの設定や、サイクリストにやさしい宿の認定を進め、メディアなどを活用した認知度向上を図るなど、観光資源を活かしたサイクルツーリズムを推進する。



涸沼湖畔のサイクリングの様子(茨城町提供)

花きの振興

議員 コロナ禍で花の消費は激減し、花き生産者の経営は厳しい状況にある。今後どのように本県の花きを振興していくのか。
農林水産部長 低コストで栽培できる新たな品種導入に向けた栽培指導や、ネット販売などに取り組み生産者を対象とした商品設計を学ぶ研修会の開催など、生産、販売面の支援を行うほか、若い世代への花の消費拡大にも努めていく。
(ほかに、農業由来の廃プラスチックのリサイクルと排出抑制、涸沼川沿川の洪水対策なども質問)



二川 英俊 議員
県民フォーラム
ひたちなか市選出
一括方式

県政のこれまでの評価と課題、来年度の予算編成方針

議員 税収減が見込まれるが、台風被害からの復興やアフターコロナを見据えて、県民が豊かに生活できる環境整備が重要と考える。来年度の予算編成の考え方は。
知事 感染症対策と、本県が地域間競争を勝ち抜く体制づくりは喫緊の課題である。来年度予算は、施策の選択と集中、事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底し、新たな生活様式に対応した力強い産業の創出、次世代を担う「人材」の育成などに取り組んでいく。

雇用環境の整備

議員 地域実態に沿った最低賃金の引き上げが必要である。また、遵守されるよう厳しく監督し、違法事業所の摘発や罰則適用の強化など制度の実効性を高めることも重要となるが、どう取り組むのか。
産業戦略部長 近隣県との格差もあり、最低賃金引き上げの働き掛けを継続する。いばらき就職支援センターで事業者に対する最低賃金の遵守徹底や、違反の恐れのある情報収集に積極的に取り組む。
(ほかに、那珂川における総合的な河川災害への対応、ひたちなか大洗リゾーツ構想の現状と今後の展開なども質問)



最低賃金の引き上げと遵守



金子 晃久 議員
いばらき自民党
常総市・八千代町選出
一括方式

鬼怒・小貝リバーサイドルートの振興

議員 つくば霞ヶ浦りんりんロードの取り組みの経験や成果を、鬼怒川・小貝川の堤防をつなぐ「鬼怒・小貝リバーサイドルート」の振興にどう生かしていくのか。
県民生活環境部長 常総市など沿線市町では、りんりんロードを参考に、沿線の見どころを結びつけたサイクリングコースの設定を進めている。県は、沿線のコースや見どころ、イベントなどの情報発信や、イベントなどへの積極的な参画により地域を盛り上げていく。

筑西幹線道路の整備と山川沼地区の排水対策

議員 八千代町の山川沼地区における九郎兵衛橋付近の排水問題について、取り組みの方向性は。
農林水産部長 九郎兵衛橋の改修計画を見直し、必要な排水が支障なく行われる構造に改めるとともに、九郎兵衛橋などの改修と並行して、残る排水ポンプ一台も設置していく。これらの改修の際には、地元の農業者や住民に十分理解いただけるよう丁寧に説明していく。
(ほかに、5G\*1時代を見据えた産業振興と環境整備、有害使用済機器\*2の適正な処理なども質問)



鬼怒・小貝リバーサイドルートの振興を(鬼怒川サイクルフェスタ2019の様子:常総市提供)

※1【5G】…5th Generation(第5世代移動通信システム)の略語。現在、スマートフォンなどで広く利用されている4G(第4世代移動通信システム)のモバイル通信サービスと比べて高速・大容量で、モノがネットワークとつながるIoT化の普及を促すインフラ技術として期待されている。

※2【有害使用済機器】…本来の用途での使用が終了した電気電子機器であって、適正でない保管や処分が行われた場合に、人の健康や生活環境への被害が生ずる恐れがあるもの。